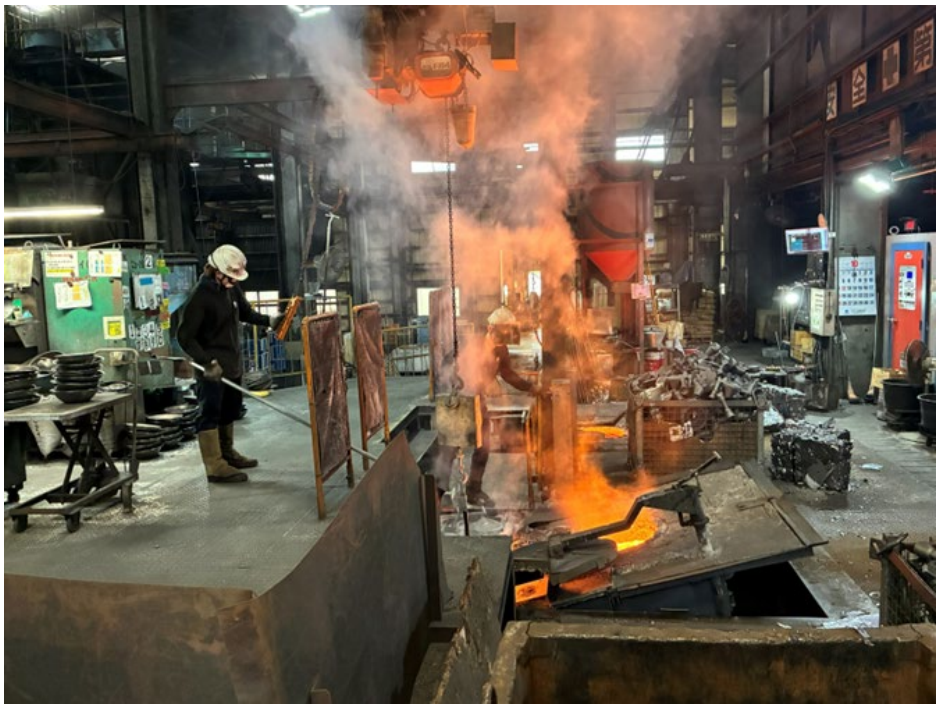
【事後レポート】

ワイ・ヨットが協力企業として参画した「燕三条 工場の祭典 2026」が来場者64,991名を迎え、大盛況のうちに閉幕

～現地視察で体感した職人の静かな情熱と「MakerScape」の世界～



上質なキッチンウェアや暮らしの道具をお届けする株式会社ワイ・ヨット（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：寺田 佐和子）は、協力企業として参画したオープンファクトリーイベント「燕三条 工場の祭典 2026」が、2026年10月4日（日）に大盛況のうちに閉幕したことをお知らせいたします。

2013年にスタートした本イベントは、地域企業・行政・教育機関・来訪者が一体となって“ありのままの燕三条のものづくりの風景”を国内外へ発信する取り組みです。今年の来場者は64,991名。昨年よりも2,931名プラスとなり、毎年心待ちにして訪れるファンも増えていることがわかります。

弊社は、イベントの告知や直営店舗での連動フェアの開催を通じて、本祭典を全力でサポートしてまいりました。会期中は、弊社代表をはじめ、商品企画から営業部門まで約30人の社員と、お取引先である小売店の皆様が一緒に現地に入り、それぞれの想いを持って工場を巡りました。

【現地レポート】

ワークショップやスタンプラリー、アウトレット商品の販売といった企画もありつつ、工場では通常の業務も行われており、ものづくりの時間や空気を共有するという「燕三条 工場の祭典」の理念「MakerScape」がまさに体現されていました。我々も職人の方との対話や、製品が出来上がっていく様子を実際に見ることで、産地やつくり手、そして製品への敬意をより一層強く感じることができました。



【自慢の技術を想いと共に聞く】
カトラリーを中心に生活雑貨の企画・製造・販売など多角的な事業を行っている青芳では、同社の柱の一つ、レジン家具の工房を案内。レジン（樹脂）を組み合わせることで天然木に新しい息吹を吹き込み、魅力的な商品に仕上げていく過程を公開していた。



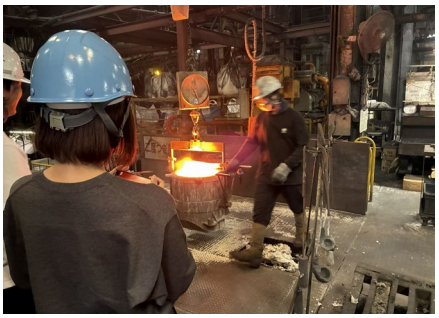
【新しいチャレンジに触れる】
近藤製作所の一角にはカットされた包丁の原型が。近隣の農家のための鍬などの道具をつくってきた同工場だが、ニーズに応じて包丁などの一般家庭用品へも踏み出すという。



【職人の目と機械のパワーを体感】
品質、デザイン性からもファンが多い老舗カトラリーブランド「ラッキーウッド」の小林工業では、磨きの工程の一つに機械を導入し、生産力をアップしながらも機械任せではなく、常に職人が機械の動きをチェックし、調整を行っている。



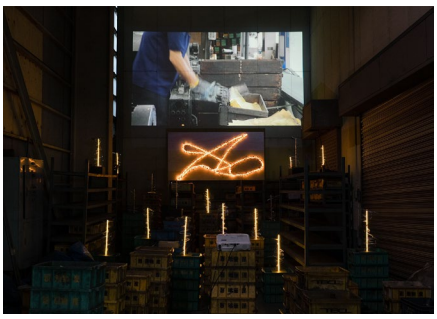
【オープンファクトリーの元祖を知る】
ニッパー型刃物の諏訪田製作所は「オープンファクトリー」の先駆け。作業場に沿って見学通路が設けられており、工場の祭典時以外でも職人たちの作業を妨げることなく見学できる。



【工場の日常の作業を肌で感じる】
「極薄鋳鉄」という唯一無二の技術を追求し、鋳物ホーロー鍋の「ユニロイ」を展開する三条特殊鋳工所では、職人が溶鉱炉で鉄を溶かす作業を間近で見ることができ、独特な温度や音までも体感できた。

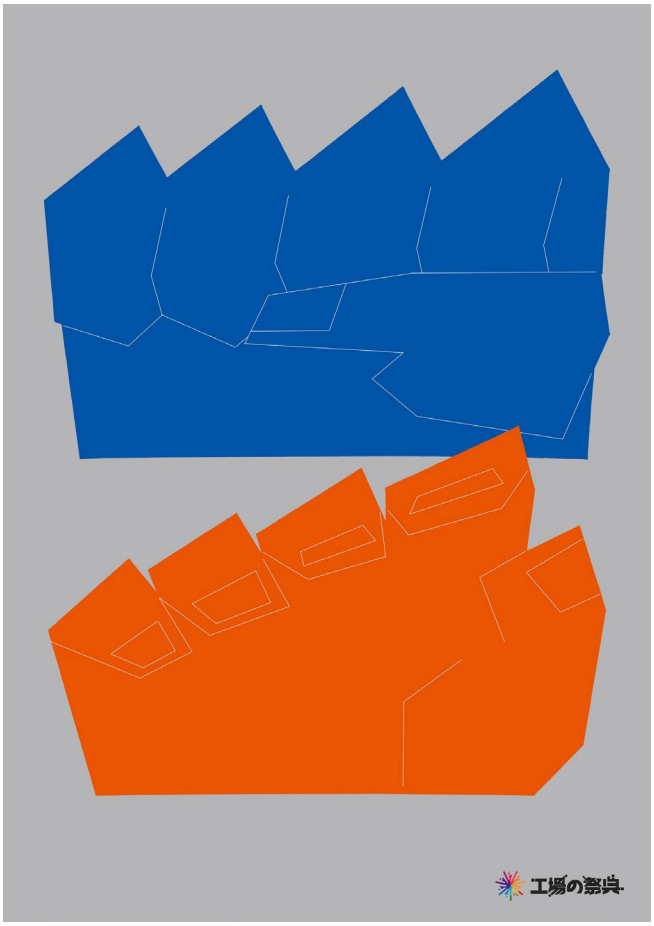


【燕三条の産業の歴史を学ぶ】
江戸時代から現代まで連綿と続く燕の産業の歴史を紹介している燕市産業史料館では、匙から始まるカトラリーの歴史を学ぶことができる。写真は大正7年製、すべて手づくりのスプーンとフォーク。機械が開発され、金属洋食器の大量生産が可能になった大正時代から昭和初期にかけて一大輸出産業だったという。



【工場で現代アートを鑑賞】
新潟大学三村研究室の学生が燕三条のものづくりに着想を得た作品をつくり、展示する「工場アートめぐり」も同時開催。燕物産では、同社で働く職人の心拍や作業時の手の動きをモチーフにした作品を展示していた。同研究室のインスタグラム @mimura_lab（https://www.instagram.com/mimura_lab/）では他の作品も紹介している。

株式会社ワイ・ヨットは、これからも「ものづくり」に励む職人やメーカーの皆様とともに歩み、地域産業の活性化に貢献してまいります。工場の祭典や、ご紹介した企業や商品にご興味をお持ちの方は、下記の連絡先までお問い合わせください。



コンペにより選ばれた新潟大学大学院総合学術研究科1年小澤康太さんデザインのキービジュアル。今年のテーマである「人がひらく」をイメージしたデザイン。職人や製品を届ける人々の手をモチーフにしています。

「燕三条 工場の祭典」とは

工場を一斉開放し、見学や体験・学習ができるイベント。
ものづくりをする人々（Maker）が創り出す、唯一無二の風景（Scape）、「MakerScape」を理念に掲げ、つくり手と訪れる人が同じ場所に立ち、ものづくりの時間や空気を共有し、対話を通じて学び合う文化的な体験を目指しています。
工場が一斉開放される「燕三条 工場の祭典」の4日間は、普段寡黙な職人が主役となり、ものづくりに注ぐ熱い想いを伝えます。工場の数だけある「ものづくり」のストーリー、「ものづくり」を支える職人の魅力・匠の技を、実際に工場へ訪れてその目で確かめる機会になっています。

【2026年 開催概要】
開催期間： 2026年10月1日（木）～ 10月4日（日）
開催地：新潟県 燕三条地域および周辺エリア

オフィシャルサイトはこちら

株式会社ワイ・ヨットについて

1949年の設立以来、キッチン・ダイニングから生まれる豊かな暮らしを提案しています。「OXO」「グリーンパン」「Fissler」「24BOTTLES」をはじめとする世界の優れたブランドの輸入代理店を務めるほか、上質なキッチンウェアを長年扱ってきた知見を活かしたオリジナル商品や目利き力を発揮したカタログギフトの開発、全国31店舗の「ワイ・ヨット ストア」の展開など、商品の企画からご提供までを通じて、食卓と豊かなライフスタイルをお届けしています。

Y.YACHT

【お問い合わせ先】
株式会社ワイ・ヨット
コーポレートブランド本部　ブランドコミュニケーション部
広報担当　亀山小絵子　Email：kameyama@y-yacht.co.jp
Mobile：070-3324-4527
〒135-0015 東京都江東区千石2-3-28　TEL：03-5665-2300　FAX：03-3699-8735